

# 「葛城市當麻複合施設整備基本計画(案)」に関する パブリックコメントの結果について

## Ⅰ 概要

本市では、令和4(2022)年7月に「葛城市當麻複合施設整備基本方針」を策定し、當麻文化会館を全面改修し、當麻庁舎、當麻図書館、當麻文化会館の各要素を複合化することで、新たな市のシンボルとして市民活動の拠点性を高めることを目指しています。

その目的を推進するため、「葛城市當麻複合施設整備基本計画(案)」を取りまとめ、市民の皆様から御意見を募集しました。

その結果、16名(意見総数82件)の御意見をお寄せいただきましたので、その内容とそれに対する本市の考え方を次のとおり公表します。

### 【パブリックコメント手続における御意見に対する市の考え方の区分】

A:御意見を踏まえ、案を加筆・修正するもの

B:御意見の趣旨が案に沿ったものであり、御意見を踏まえ取組を推進するもの

C:今後取組を進める中で参考とするもの

D:案に対する質問・要望の御意見であり、案の内容を説明・確認するもの

E:その他

### 【御意見の件数と対応区分】

項目	A	B	C	D	E	計
(1) 事業の経緯・進め方に関する事	0件	1件	2件	16件	0件	19件
(2) 新施設の整備方針・諸室の計画に関する事	2件	4件	22件	2件	0件	30件
(3) 複合化する施設の跡地に関する事	0件	0件	4件	0件	0件	4件
(4) 新施設の管理・運営の考え方に関する事	0件	0件	15件	3件	1件	19件
(5) その他に関する事	2件	0件	2件	3件	3件	10件
合計	4件	5件	45件	24件	4件	82件

具体的な御意見の内容と市の考え方については、次ページ以降を御参照ください。

(1) 事業の経緯・進め方に関すること(意見数 19 件)

No.	意見・要望等	本市の考え方	対応区分
1	<p>今後の人口減少、少子高齢化が進む中で、施設の統廃合はいいことだと思います。今回は當麻庁舎周辺エリアにスポットが上がっていますが、今後は旧當麻町、旧新庄町の枠組みを超えて統廃合を進めてほしいと思います。一度大きく減らして、本当に必要なものを足した方が本当に必要なものが精査されると思います。</p>	<p>當麻庁舎周辺エリアを中心とした本検討では、施設の統廃合を含めた検討を進めていますが、今後も「葛城市公共施設等総合管理計画」等に則り、全市的な視点で効果的な施設管理について検討を推進してまいります。</p>	B
2	<p>改修後の方が本の冊数が増加していますが、借りられることのない本は、蔵書すべき冊数に入れる必要がないと思います。重要な書籍であっても、新庄図書館にあれば良いのではないのでしょうか。新たに購入される本が、市外の図書館よりも少なく、借りたい本が見つからないことが多いです。絵本や図鑑などの子どもも大人も楽しめる本に特に力を入れるなど、できる限り厳選した本のみを移設できるよう検討を進めてください。</p>	<p>本の選定や最終的な蔵書冊数については、現時点では確定していませんが、頂いたご意見等を参考に、より良い環境に向けた検討・取組を推進してまいります。</p>	C
3	<p>複合施設の整備に当たって、賑わいをコンセプトにしておられるようですが、庁舎を訪れた人、文化会館に集う人、図書館利用者は、一定時間集まりますが、その他の人を集めるには、目的を持った活動の人でないと集まりません。例えば、ハード面で喫茶コーナーや特定団体の事務所や集会所があれば、それぞれの目的に沿って一定時間集うかもしれません。より多くの人を呼び込むには、継続的な活動の根っこがなければ続かないと思います。例えば、現在大和高田市の市民交流センターが取り組んでいる「きらきらステーション(通称:きらステ)」など他団体の活動を参考にもされ恒常的、持続的な取り組みの工夫に努めていただければ、と思います。</p> <p>また、現状以上の人を集めるには、アクセス上の工夫・配慮も必要であり、また、既存庁舎等の除却に当たっても賑わいの視点から跡地利用の検討は必要かもしれません。</p>	<p>施設のハード面のみならず、将来に渡って継続的に賑わいのある施設となるよう、設計と並行して、管理・運営のあり方に関する検討を推進してまいります。</p>	C
4	<p>基本計画(案)第1章において、「當麻庁舎の再配置に当たっては、市議会とも協議を重ね、新庄庁舎(現在築35年)の更新を迎える時点で、基本的には庁舎を一つにすることを念頭に、…」云々との記述が見られますが。</p> <p>(質問) 現行の新庄庁舎の改変時期は何年頃と想定されているのか、お聞かせください。仮に、30年先と仮定して、30年経過間近になり、候補地を物色しようとしても、今日の市街地の進展状況をみれば、候補適地は大きく制限を受けることになりかねません。もちろん、現地建替え方</p>	<p>「葛城市公共施設等総合管理計画(令和5年3月改定)」第3章「方針に沿った維持保全等の具体的な進め方」では、「3-2 施設の使用年数の設定」や「3-3 保全実施における3つの期間の設定」について記載しています。</p> <p>既存施設については、55～65年目を再整備実施期間と定め、この期間中に施設のあり方を見直し、必要性に</p>	D

	<p>式も考えられますが、そうなればその時点での暫定的な仮庁舎をどのようにするのかとの問題点も生じます。葛城市民の多くの方は、将来の庁舎立地については、ざっくりと言うならば現行新庄庁舎と當麻庁舎とのゾーンの中に立地させることが、ほぼ理想と考える方が多いのではないかと考えます。</p> <p>(要望)このような点を考慮し、新庄庁舎が改築の必要性に迫られた時点で候補地につき右往左往するのではなく、将来の庁舎適地についても現時点から検討し、逐次議会とも相談協議し、土地の先行取得も含めて推し進めていっていただきたいと考えます。</p> <p>また、新庁舎を整備する時期とも関連して、現行のマルベリーホール、現在検討中の當麻複合施設のあり方、方向性も再検討する必要があるかと思えます。(現行の形をとるか、新たな一点集中方式を構築するか等、ですが)⇒これらは、その時点での議会の意見、市民需要を押し量り検討いただければ、いいかと思えますが。市民会館、図書館の一時休館は可能ですが、庁舎はそのようにはいきませんので、適地の検討を将来に向かい推し進めるべきかと考えます。</p> <p>上記の点につきましては、市当局はもとより、市議会議員各位におかれましても主体的責任感を保持しつつ、市とも情報共有を図りながら、総合的な住民サービスの観点からより良い合意形成の方途を検討していただければ、と思料いたします。</p>	<p>じて長寿命化・建替え・廃止・複合化・集約などの今後の再整備方針を定め、実施・対応する期間としています。</p> <p>葛城市役所新庄庁舎については、20年後が55年目に当たりますので、20～30年後の期間に再整備についての計画を含めた検討を実施することになります。なお、新庄庁舎は現在、35年目の予防保全(改修)期間に当たり、今後20～30年使用することを前提に、外壁及び防水等の改修に向けた設計業務に着手しているところです。</p> <p>ご意見のとおり、市役所に対する再整備実施期間時点での市民需要がどのようなものであるのかは重要な要素となりますので、今般の検討における経験等も踏まえ、より良い合意形成に向けた取組を推進してまいります。</p>	
5	<p>歴史的にも當麻地域の中心街を形成してきた各施設・建物(図書館、公民館、分庁舎、文化会館など)をできるだけ残してほしい。旧庁舎が耐震上危険だからなくなったのは当然ではあるが、景観上も優れ、耐震上も問題のない図書館は貴重な財産と言える。少なくとも図書館は残すべきである。旧當麻庁舎がなくなり、これに加え図書館、分庁舎など各建物がなくなればこのエリアが本当に寂しくなることは市民の誰もが思っている。</p>	<p>「葛城市公共施設等総合管理計画(令和5年3月改定)」第3章「方針に沿った維持保全等の具体的な進め方」では、「3-2 施設の使用年数の設定」や「3-3 保全実施における3つの期間の設定」について記載しています。既存施設については、55～65年目を再整備実施期間と定め、この期間中に施設のあり方を見直し、必要性に応じて長寿命化・建替え・廃止・複合化・集約などの今後の再整備方針を定め、実施・対応する期間としています。</p> <p>當麻図書館の建物については、昭和</p>	D
6	<p>図書館は今の建物のまま単独で残してほしい。今の図書館は大人や大きい子用として、となりに和歌山県橋本市のたまご絵本館のような絵本館を作ってほしい。</p>		
7	<p>今ある図書館を「絵本館」として活用してください。</p>		

8	<p>現當麻図書館を残してください。残せないなら新文化会館の1階と2階に図書館を分けるのではなく、1階部分に図書館をまとめてください。</p> <p>現状の當麻図書館のように1階で一般の閲覧室と子どもの閲覧室の貸出、返却、登録のカウンター業務を1か所に集約することで、人件費は少なくて済みます。</p>	<p>41(1966)年に竣工し、昭和63(1988)年に増築が行われていますので、増築前の建物本体は築後57年を経過しており、耐震診断の対象施設とはなっていませんが、問題がないと断定された施設ではありません。</p>	
9	<p>図書館を残し、當麻寺にふさわしい當麻の町並を残してください。7億円をかけて、図書館・分庁舎・倉庫の3館を解体し、倉庫の新設には反対です。</p> <p>①図書館の解体費用と、②倉庫の新設費用を図書館の耐震補強に①②とも回し、図書館として使用するか、無理ならば倉庫に転用してください。といいますのは、倉庫を新設するくらいならば、おもむきのある図書館を残すほうが、景観は守られます。倉庫のスクラップアンドビルドは必要ありません、無駄です。SDGsの住み続けられるまちづくりより「住民のまちづくりへの参加を確保」してください。立派だった當麻庁舎が解体されて更地になったとたんに、風景がさみしくなりました。この上に、既存の當麻図書館が無くなると町並が激変します。ますます、目に見えてさびれてゆくには、大反対です。昭和の古き良き町並を活かして町おこしをしている地域もあるからです。當麻寺と共にくらしているこの當麻の地域は、ご先祖様や代々1300年の長い長い間、多くの方々が精神的・経済的に支えてきました。1300年という途方もない年月を守り続けた當麻寺を誇りにしている住民は、さびれる當麻の町を望んでいません</p>	<p>現在、當麻図書館は再整備実施期間に当たり、施設の長寿命化に必要な大規模改修やその維持管理に必要な経費、将来を見据えて必要とされる施設の規模、エリアの賑わいに向けた跡地活用の可能性等を総合的に勘案した結果、他施設との複合化及び旧施設の除却を基本とした検討を行うことになりました。</p> <p>また、周辺エリアの全体構想については、複合施設の整備に続き、継続的な発展に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>P44 8 事業費に記載のある跡地の工事費(7億円)については、既存施設の解体に加え、敷地の造成、駐車場、緑地、広場、倉庫等の整備を行うと仮定した際に要する費用を、事業規模の目安として計上していますが、個別の項目については、整備の必要性も含め、詳細な内容や規模について今後の検討の中で精査のうえ決定します。</p>	
10	<p>使用価値のある建物(図書館)を解体し、発生したスペースをイベント広場又は、民間活用スペースとする。具体的活用計画もないままとにかく、図書館を解体するための複合化計画のように見える。解体のためにも数億の費用を要する。市民の財産の浪費であり、若者に債務をプレゼントするものと思う。図書館建物を解体せず、生かす計画を望みます。</p>	<p>複合施設内の図書館の配置については、今後の設計段階で決定の予定です。</p> <p>子ども向け図書と一般向け図書のエリアには、目的の異なった利用者が訪れることから、ある程度のエリア分けが必要と考えています。互いの利用者が心地よく利用できる施設となるよう、施設内及び人員の配置等、頂いたご意見を参考に検討を進めてまいります。</p>	

11	<p>市民アンケート(N=673)では、「気になる点」(資料編9ページ)で見ると、「特になし(現状で満足)」が50.3%、「リラックス出来る場所がない」が18.6%となっています。複合施設の中に、現状で満足している當麻図書館とリラックスできる場所が確保出来るのでしょうか。現状で満足している當麻図書館を縮小すれば、逆に多くの「気になる点」=不満が生じるのではないのでしょうか。図書館は分離、独立させておいた方が良いと思います。</p>	<p>本計画(案)(資料編)P20(2)要点整理のためのグループ別傾向分析では、市民アンケート結果の利用頻度を「1年に1度以上利用するグループ」と「1年に1度も利用しないグループ」に分けて傾向を分析しています。</p> <p>10代以下のグループでは、小中学校に図書室があることから、気になる点が「特になし」という回答が7割程度となります。また、20代以上のグループについても、使っているグループより使わないグループに「特になし」と回答する割合が高いことから、利用しないグループは不満があるから使わないのではなく、利用する目的がない傾向があると分析しています。</p>	
12	<p>現當麻文化会館の中に、當麻庁舎と図書館の2つを詰め込むことには反対です。図書館は独立した建物にしてください。そして、もっと使い勝手の良い、ゆったりとした空間にしてください。子どもたちの未来のために。葛城市が子育てに力を入れていると思って転入してきた若い世代の願いをかなえてあげてください。</p>	<p>しかし、20~50代の使っているグループでは、「特になし」と回答する割合が20.7%、60代以上の使っているグループでは34.4%と、使っているグループの6割強から8割近くの方が、利用に際して「気になる項目がある」と回答しています。</p> <p>その中でも、「リラックスできる場所がない」と回答された割合がいずれの場合にも高いことから、現状の図書館の空間のあり方や使い方について課題があると認識しています。</p> <p>これらは、単に広い空間があることで解決するということではなく、新しい公共図書館のあり方として、職場や家庭以外の「居場所」として機能や役割が期待されていることの表れだと解釈しています。</p> <p>より良い空間構成や使い方について、検討を進めてまいります。</p>	D
13	<p>遊具付きの図書館が検討されているようですが、積木、おじゃみ(お手玉)のような手軽なもので、機材が据え付けられる事のないように希望します。</p>	<p>子ども向けの図書エリアと子どもたちが遊べる新しい空間は、別の機能及び空間を想定しています。子ども向けの図書エリアでは、例えば隠れて本を読む空間や立体的な展示の方法等に</p>	D

		ついで、子どもたちの心身に訴えかける遊び心のある工夫を取り入れたいと考えています。	
14	公民館条例に規定されている當麻図書館にある「葛城市當麻公民館」の空間と機能を、新規に建築するか、又は、現在の當麻図書館や総合窓口棟を一部残すなどして、複合施設の周辺に確保するようにしてください。新庄地域には「中央公民館」があるのに、「葛城市當麻公民館」がなくなるということは、旧新庄町地域と旧常麻町地域とが不平等な状態になります。	新しい複合施設の諸室は、部屋ごとに文化会館用、公民館用と用途を区別したものではありません。使用料や減免等の新しい複合施設の運用上のルールについては、施設の設置及び管理に関する条例で定めることとなりますので、今後の管理・運営検討の中で、所管課と共に詳細を協議してまいります。	D
15	「當麻公民館」(現當麻図書館 2F)の機能を現在の「中央公民館」と同等のものとして市民が利用できるようにしてほしい。當麻公民館はあまり知られていない(私も知ったのはつい最近)。そのために當麻公民館は十分活用されていない。公民館機能を複合施設の中に位置付ける方向で検討されていると聞いたが、現在南藤井にある「中央公民館」同様の利用が可能な計画にしてほしい。		
16	文化会館の「諸室」は、すべて市民の学習権保障のための環境づくりとして、社会教育法により無償が義務づけられています。		
17	當麻地区でも無料で利用できる集会室(公民館機能)の充実をお願いします。		
18	<p>なお、今後、市民説明会は開催されるのですか。開催されるのであれば、タイミングを教えてください。また、開催の場合には、広報で告知された時間を遵守するようにしてください。</p> <p>なお、過日の市民説明会の折、市民会館のサークル利用者から意見聴取の機会がない、と言った趣旨の意見もあったかと思いますが、未済であれば、主なサークル利用団体の正副責任者を交えての懇談会等、別途設定されてもいかがかと感じました。</p>	<p>現時点で、再度市民説明会を開催する予定はございません。</p> <p>また、サークル利用者からの意見聴取について、広義的には令和4(2022)年6月実施の市民アンケートを當麻文化会館において配布したこと及び令和5(2023)年2月実施の中間報告会においてアンケートを配布したことが挙げられますが、狭義的には現在、サークル活動の利用が終了する時間帯に個別にヒアリングを実施しているところです。</p>	D
19	コンサルタントに、専門の方を入れてください。(学識経験者等)	特定の人物を限定して業務を依頼することは予定していませんが、必要に応じた専門家への意見聴取を想定しています。	D

(2) 新施設の整備方針・諸室の計画に関すること(意見数 30 件)

No.	意見・要望等	本市の考え方	対応区分
1	<p>文化会館の部屋は、数を確保するだけではいけないと思います。部屋の中でなくても広い通路等でできる活動もあると思います。どのような活動がされていて、また将来どのような活動がされるかを考えて、いろいろなスペースを作ってほしいです。</p>	<p>スペースの共有により、自主事業又は可能な市民活動については、活動内容や空間を共有することで、活動の広がりやコミュニティの醸成が図られることに期待しています。ご意見を踏まえ取組を推進してまいります。</p>	B
2	<p>大ホールは、床をフラットにしてステージも低く、イスは並べる型にすれば小・中規模のコンサートや展示会(イスをとる)として気軽に利用できていいと思います。</p>	<p>ホールについては、多目的な活用を想定したしつらえを準備することにより、様々なパターンで利用することを想定しています。ご意見を踏まえ取組を推進してまいります。</p>	B
3	<p>目指すところは、未永く平日・週末問わず乳幼児が多く集まる場所。乳幼児が集まれる場所には、必然的に取り巻きの大人も集まる。(平日の高利用率も狙う)子ども向けのイベントがあれば親、祖父母が見に来る。大人向けの機能は、少していい。ほかに葛城市には立派な施設があるので機能分化・役割分担である。子どもが室内(屋上)で遊べるスペースがあればなおよい。屋外での運動スペースは、いらない屋敷山公園等多くある。1日長時間の滞在をしてもらうには、カフェ・軽食(女性が魅力に思う)を考える必要がある。特に、図書館機能を目玉とし乳幼児向けに特化してはどうか。一般向けは新庄図書館に集約。中高生も週末には、長時間滞在し自習できるスペースも欲しい。</p> <p>この取り組みにより、葛城市に移住してきた子育て世代、これから新生活の場を検討している人たちに子育てのしやすい葛城市をアピールできる、更なる成長に期待できる。</p>	<p>諸室・空間の配置・仕様・使用方法等については、頂いたご意見等を参考に、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。</p>	C
4	<p>諸室のオープン性の確保や新しい機能との共存、新しい空間の充実など、今までにない要素を取り入れる検討を進められていることは評価できると思います。</p> <p>今までの文化会館や図書館は、決まった人たち(文化会館は年配の方、図書館は昔から本好きの方)が使えるればそれで良いというような、お役所的な施設だと思っていました。</p> <p>これからの葛城市を支える子どもや若い人、本を読まない人にとっても魅力のある施設が、今後受け継がれていく施設には必要だと思います。子どもの遊び場やカフェを是</p>	<p>ご意見を踏まえ取組を推進してまいります。</p>	B

	非実現してください。		
5	<p>閲覧席の席数が少ないと思います。市外の魅力的な図書館には、沢山の閲覧席の中からその日の気分によって自分の居場所が選べ、自由な時間を過ごせるものがあります。</p> <p>目指されているものは同様のものだと読み取れますが、もっと振り切った方向性で整備される方が良いものができると思います。</p>	<p>諸室・空間の配置・仕様・使用方法等については、頂いたご意見等を参考に、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。</p>	C
6	<p>図書館に市民が集い語らいを楽しめるように、新聞の充実(同紙を2部置)と週刊誌数を充実し、これらの閲覧コーナーにソファなどで団らんの出来るコーナーを作ることは、今後の図書館には不可欠です。</p>		
7	<p>(質問)複合化して、全体スペースの取り合いが、ゆとりあるものになるかどうか(手狭ではないか)、現行の施設内容と比べると、正直不安になる点があります。この点につき、なお市民向けにもう少し詳細かつ丁寧な説明をされておいた方がいいかと思えます。会議室などは共用スペースとし、庁舎会議室、文化会館機能並びに貸室としての活用、図書館自習室、読み聞かせ、講和室等、併行活用することには、施設の有効活用の観点からは、異論あるものではありませんが。</p> <p>ただし、P37にも記載があるように間仕切りなどの場合には、遮音性の高いものの設置など工夫をお願いします。賑わいを要する一角と静寂さをもたらす一角は厳然と区分けしておく必要があるかと思えます。子どもたちには、保護者とともに賑わいが必要な部分があるかもしれませんが、中学生以上(小学生においても必要な要素もありますが)の図書館利用者には、むしろ静けさが必要でしょう。「学ぶとは胸に誠実を刻むこと」という言葉がありますが、(要望)本と対峙し、自ら考え、触発されるためには、静かなスペースを提供してあげることが必要ですし、また中学生以上、成人向けにマルベリーの図書館に近い形での自習室の設定もお願いしたいところです。(自習室については、部屋を固定するのではなく、既存の会議スペースと機動的に活用することであってもいいかと思えます)なお、過日の市民説明会(2月23日)で、現行の図書館と比べれば、今回想定した複合施設の図書館については、開架図書部分の減少が生じるため利用者を閉架図書部分に誘導案内するとの説明がありましたが、当日、図書館の司書経験歴が豊富な方を含め何人かの方から疑問の意見がありました。そもそも閉架部分に利用者を逐一案内するなど</p>	<p>庁舎用会議室については、執務室内に一部専用の部屋として会議室や相談ブースを設ける予定ですが、その他については、ご意見の通りあらゆる場面での共有化が望ましいと考えています。どのくらいのゆとりが生み出せるか等、具体的な諸室・空間の配置等については、今後の設計又は運用計画段階で検討してまいります。</p> <p>また、P34 図書館部門の閉架書架の一部を一般開放すると記載したもののについては、ゆったりと配架した一般図書エリアと比較し、書架の配列は込み入ったものになることや書棚が装飾等のない実用的なものにはなりますが、一般の入室等を制限することのない、開架書架に準ずるスペースを想定しています。これにより一般図書エリアは、多くの利用者に向けてこれまでよりも本が探しやすく、手に届きやすい空間になると同時に、本に詳しい利用者からも選択の機会を奪わない配架になると想定しています。</p> <p>また、蔵書可能な冊数を減少させることは想定していませんので、図書館機能の縮小が起こらないよう、ICT等の活用により、図書の検索性等を向上させる手段についても研究を深める必要があると考えています。</p>	C



	<p>は、言わば毎日毎日バックヤードツアーを行うようなものであります。</p> <p>(提案)それであれば、利用者の求めに応じ、案内誘導するコーナーをいっそ開架図書コーナーとしてはどうでしょうか。逆にそれが出来ないのであれば、図書検索機を充実させるなり、閉架図書目録の整備充実と綿密な蔵書相談対応(司書機能の発揚)に心がけていただいたらどうでしょうか。</p> <p>庁舎部門のスペース取りはこれでいいのですか。</p> <p>(質問)来庁者への対応スペース並びに職員の執務スペースは十分でしょうか。</p>		
8	<p>33~38 ページ</p> <p>共用部・新しい空間 250 平方メートル(約 76 坪)に、「子育て支援スペース、カフェ等のコミュニティスペース、ギャラリー等」が、「ゆとりがある空間」として確保できるのでしょうか。無理に詰め込んで、どれも中途半端なものになりはしないのでしょうか。複合施設に図書館を入れた上に、市民アンケートで求められているような、「リラックスできる場所」(資料編 9 ページ)、「ゆっくり休憩できる静かなスペース」(資料編 17 ページ)が確保できるのでしょうか。他市の例が写真で紹介されていますが、面積が記載されていません。面積を記載するべきです。葛城市の計画している面積と同等なのでしょうか。同等でないと同じイメージには作れないのではないのでしょうか。</p>	<p>「子育て支援スペース、カフェ等のコミュニティスペース、ギャラリー等」及び「他市の事例写真」は、活用方法を例示したものですので、現時点で全てを導入すること、またはその面積等を決定づけたものではありませんが、市民アンケート等これまでの経緯で求められている市民ニーズを踏まえ、できる限り多くの期待が実現できるよう努力してまいります。</p> <p>具体的な諸室・空間の配置等については、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。</p>	D
9	<p>33~36 ページ</p> <p>改修後のミーティングルームは、「庁舎や図書館の会議等で利用する他、休日・夜間は一般開放・自習室として使用可能に」となっています。そうすると結局、平日、日中に「生涯学習・多目的」に使えるのは 6 室だけとなります。少ないと思います。市民が利用したい日時、曜日に利用できない可能性が高くなりませんか。過去、私の知るだけでも、市の方針・経費削減で 3 つの講座、教室がなくなりました。市民の孤立化・孤独化を防止すると共に、生涯学習を手助けするという観点から、初心者気軽に参加できる市役所が設置する講座・教室をもっと増やしていくようにすべきだと思います。6 室だけでは少ないと思います。</p>	<p>庁舎用会議室については、執務スペース(210 m<sup>2</sup>)内に一部専用の部屋として会議室や、別途相談スペース(25 m<sup>2</sup>)内にブースを設ける予定です。P35 及び P36 について、執務スペース内に「庁舎用会議室を含む」ことを加筆修正させていただきます。</p> <p>庁舎用会議室の不足分やその他の利用が生じた場合には、空室は会議室として利用できると考えています。</p> <p>また、会議室として利用する部屋はミーティングルームに限らず、共用活動ス</p>	A

10	<p>現在、當麻文化会館を利用する団体の意見を反映させ、新施設での市民が使用できる部屋を減らさないこと。</p> <p>また、文化的活動が可能な設備を充実させてほしい。</p> <p>現在、當麻文化会館は多くの文化団体(サークル)が利用し、文化活動を繰り広げています。2/23の市民説明会でも厳しく指摘されていましたが、これらの利用市民団体の声を個別に聞いた上で、計画に組み込んでください。</p> <p>まず、基本計画(案)の示す「生涯学習・多目的」の各部屋の数は9部屋となっているが、ミーティングルームは庁舎・図書館の役所の会議室と位置付けられており、休日・夜間以外は、一般開放されていない。</p> <p>よって、「生涯学習・多目的」の部屋数は実質6部屋(440㎡)しかない。現當麻文化会館は、研修室を含め10部屋(740㎡)。部屋数、面積共に明らかに大幅な縮小となっている。いくら多目的利用が可能といっても、これでは活動会場の予約困難が生じるのは目に見えている。現状を下回らない活動を確保するためには、多目的室をもう少し増やすべきである。</p> <p>また、「ミーティングルーム」が実質役所の会議室となっているのは違和感がある。そもそも「役所」仕事空間と「文化会館・公民館」という文化活動空間が同じ狭い建物に同居するという自体に無理があると思います。文化活動スペースは、現行の活動を維持できる部屋数と面積を確保し、少なくとも「役所」業務用としての庁舎会議室は庁舎フロアにまとめるべきです。</p> <p>さらに、「生涯学習・多目的」の各部屋では、音楽など音の出る活動と静寂を求める活動が同じフロアでは同時に活動できない。併存するには防音などしっかりした設備が求められる。</p>	<p>ペースでも同様に空室の活用が可能と考えています。特別な設備を有した部屋は、予約の優先順位等のルールづくりが必要となりますが、ミーティングルームには水道等の設備を設けることで、教室としても共用ができると考えています。</p> <p>加えて、現在は午前・午後・夜間の区分となっている予約枠について、実情に応じ、もう少し細かく区分することで、予約枠の数を増設することも想定しています。</p> <p>また、音の出る活動については、多目的スタジオ等、防音対策を講じた設備のある部屋を利用していただきますが、共用スペースにおけるイベント等、空間を共有し、音が聞こえることで、活動の広がりやコミュニティの醸成が計られることにも期待しています。</p> <p>その他、自主事業及び市民活動のあり方等を含め、今後の管理・運営計画で詳細を検討することになります。</p>	
11	<p>図書館の中に飲食出来る空間は必要ない。そのゆとりがあるなら開架書架を増やして欲しい。</p>	<p>P34 図書館部門の閉架書架の一部を一般開放すると記載したものについては、ゆったりと配架した一般図書エリアと比較し、書架の配列は込み入った</p>	
12	<p>一般図書エリアの70席を減らして、その分を書架にしてください。</p>		C

13	<p>開架書架 70,000 冊。蔵書 100,000 冊という現在の優れた図書館機能を維持してほしい。</p> <p>基本計画(案)では一般図書、児童図書合わせて 35,000 冊が開架図書となっており、現行の 70,000 冊から半減している。利用者にとって開架冊数は図書館の命、「図書館機能の低下」をさせない点から考えても、現状は維持してほしい。</p> <p>説明会で「開架書庫」という耳慣れない表現があった。(計画(案)では「閉架書架(一般)」と示されている部分だと思うが、書庫はあくまで書庫。ゆったりと閲覧できる現状開架数を維持する開架書架をつくるべきです。</p> <p>さらに充実させてほしいのは、ブラウジングスペースと週刊誌の充実です。なお、70 席が閲覧スペースに導入されていますが、これは今の利用状況を見ても現行の 12 席程度でいいと思います。目的に合致する本を閲覧しながら調べ、そして借りる。そのためのものです。学生の自習スペースは、図書とは別の部屋で考えればいいと思います。</p>	<p>ものになることや書棚が装飾等のない実用的なものにはなりますが、一般の入室等を制限することのない、開架書架に準ずるスペースを想定しています。これにより一般図書エリアは、多くの利用者に向けてこれまでよりも本が探しやすく、手に届きやすい空間になると同時に、本に詳しい利用者からも選択の機会を奪わない配架になると想定しています。</p> <p>また、蔵書可能な冊数を減少させることは想定していませんので、図書館機能の縮小が起こらないよう、ICT 等の活用により、図書の検索性等を向上させる手段についても研究を深める必要があると考えています。</p> <p>閲覧席についての考え方は、基本的には記載のとおりですが、諸室・空間の配置・仕様・使用方法等については、その他求められる要素とのバランスを含め、頂いたご意見等を参考に、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。</p>	
14	<p>図書館はゆったりとした環境で現在の蔵書(10 万冊)を減らさないでください。なお、閉架書架(一般)150 m<sup>2</sup>は一般的には閉架書庫を一部開架にして利用者が入れる書庫にするものですが、それならば最初からその部分は一般図書エリアにすればよいと思います。</p> <p>閲覧席は当初は多くてもいいですが、最終的には現状の当麻図書館と同一の 12 席にし、開架冊数 7 万冊を確保してください。</p>		
15	<p>図書館機能は 1 階に集約してください。(図書館総合カウンターは 1 階)</p> <p>さまざまな利用者が日常的に利用すると想定される図書館は、入口から入りやすく、外からもよく見える 1 階に配置するのがベストです。子ども連れの大人も分かれることなく利用できますし、ゆったりと滞在する場合も、迅速に予約の本だけを借りる場合も、また、庁舎利用や生涯学習施設の利用者がふらりと立ち寄ることもできます。なので、図書館は気軽に入れる 1 階に配置してください。</p> <p>そして、入口から図書館へと導くところには、外部の音が入りにくいように、けれども中がよく見えるように工夫(防音ガラス等の設置)が必要です。</p> <p>カウンターは、一般/児童の両方がさりげなく見渡せるように考えました。</p> <p>一般書のみ利用者が、児童のコーナーを通過せずに入れるように考えました。準開架書庫のスペースも採用する</p>	<p>P42 に記載している案は現時点での機能配置のバリエーションのイメージであり、複合施設内の図書館の配置については、今後の設計段階で決定の予定です。</p> <p>子ども向け図書と一般向け図書のエリアには、目的の異なった利用者が訪れることから、ある程度のエリア分けが必要と考えています。</p> <p>互いの利用者が心地よく利用できる施設となるよう、諸室・空間の配置・仕様・使用方法等について、頂いたご意見を参考に検討を深めてまいります。</p>	C

	<p>なら押し込めると考えます。その場合、外からも内部が見えるようにガラス張りにする等工夫が必要です。</p> <p>書架間の通路は、電動車いすがターンできるような広さが必要な一般閲覧室より狭くした書架配置でも可能だと考えます。(現在の當麻図書館の一般書架くらいの狭さでOK)</p>		
16	<p>案では、子ども図書は1Fだが、一般図書は2Fとなっている。親子で滞在出来るためには、どちらも1Fでなければ意味がない。是非、全図書を1Fに。(1Fに空間のゆとりがないなら、専門書や学習室は2Fでも良いと思う。)</p>		
17	<p>図書館について1階、2階に分けず、1階にまとめてください。</p>		
18	<p>一般の閲覧室とこどもの閲覧室は同一の階にすること。別の階に分散すると係員の配置を増やさざるを得ず、人件費がその分高くなります。</p>		
19	<p>どちらの案も図書館は1、2階に分かれています。子どもと保護者がお互いに自分の本を探したり、楽しんでいる間、同じフロアであればそれぞれがお互いの居場所を確かめ合うことができ、安心してゆっくり時間を過ごせると思います。階が分かれていると、子どもがひとりで階段を上り下りしたり、もし館外へ出てしまうかも考えると不安でなりません。子ども図書と一般図書は、同じ階にあることを強く望みます。</p> <p>おはなし会で使うおはなし部屋は、子どもたちがおはなしに集中できるように、外から見えないこと、防音効果のある部屋、図書館に隣接している場所という条件を希望します。</p>		

20	<p>おはなしのスペースについて</p> <p>おはなし会は、日常的に実施する行事ではないので、今回の施設内に特別なスペースをさけるだけの広さがないのは理解できます。ただ、子どもたちにやさしい図書館を目指すなら、言葉を獲得していく段階で「おはなし」を聞くことの重要性を大切にしてほしいと思います。言葉を聞いてイメージする力、想像力を、「おはなし」は育てます。そのためには、リラックスして聞ける環境が整っていることが必要です。いろんな音が聞こえてきたり、落ち着かない場所では、「声」は届きませんから。</p> <p>「おはなしのスペース」を考えるなら、赤ちゃん絵本のスペースや一般絵本のスペース(じゅうたん敷)の場所を一時的に「おはなしの部屋」に模様替えてできればよいと考えます。</p> <p>天井から、防音効果のあるカーテンなどをおろせるように設計段階で配慮しておき、おはなしの時間になると「おはなしの部屋っぽく」模様替えてできるよう工夫してください。設計者の腕の見せ所だと思います。部分的に照明を変更できると雰囲気が出せると思います。</p> <p>大人のためのおはなし会ならば、生涯学習用のたたみ敷の部屋を使えると思います。</p> <p>勉強会や講習会には、生涯学習用の部屋を利用できると思います。例会には、生涯学習用の小部屋をお借りできればと思います。</p>	<p>諸室・空間の配置・仕様・使用方法等については、頂いたご意見等を参考に、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。</p>	C
21	<p>小さい子どもは集中するのが難しいので、おはなしの部屋は他とのかわりのない独立した部屋が必須条件です。頻度が少ないと言われるなら、その部屋をおはなしに使っていない時はいろんな用途に使えるのではないかと。</p>		
22	<p>おはなしの部屋を作ってください。</p>		
23	<p>ホール横の暗いスペースは、無くしてください。</p>		
24	<p>トイレは、従来より広く、明るくしてください。</p>		
25	<p>施設全体としてボランティア活動の拠点となる部屋を作ってください。(会議室、印刷室)</p>	<p>目的を限定した部屋を設ける予定はありませんが、諸室をボランティア活動に使用していただけたらと考えます。</p>	D
26	<p>障がい者用駐車スペース 2 台は少ないので増やしてください。</p>	<p>当麻複合施設は多くの方が利用する施設であり、障がい者、高齢者、子ども、子育て世代、外国人等の利用に十分配慮する必要があると考えています。関係法令を踏まえたバリアフリー化はもとより、様々なマイノリティへの配慮を踏まえ、誰もが使いやすく、わかりやす</p>	B
27	<p>障がい者用駐車場が 2 台分は少ない。</p>		
28	<p>バリアフリーの観点から段差、エレベーター他の点検をしてください。</p>		

		く、安全でゆとりがあるユニバーサルデザインを目指します。	
29	太陽光発電は、パネルの寿命が20年から30年となっていますので、設備としては不要だと思います。	<p>当麻複合施設の整備に当たっては、施設的环境負荷の低減や防災機能強化のために太陽光発電設備の設置を検討するとしています。太陽光発電設備の要、不要の判断については、頂いたご意見等を参考に、今後の設計段階において、他設備と合わせて総合的に検討し、決定します。</p>	C
30	ソーラーパネルは重いので、建物への負荷が大きく、建物の寿命が縮んだり、地震や火災で建物倒壊キケンが高くなる。また、水害時や火事の消火活動時に感電のキケンもある。発電効率が悪いので大がかりな装置が必要で、変圧器や蓄電池が必須だが、高額で寿命は10年、全然エコではない。廃棄の問題も深刻。電磁波による健康被害が、懸念されるため(妊婦・子ども・ペースメーカーなど)不特定多数の人が利用する公共の施設には適さないと考える。		

(3) 複合化する施設の跡地に関すること(意見数 4 件)

No.	意見・要望等	本市の考え方	対応区分
1	<p>庁舎跡地利用について</p> <p>敷地全体を直営で利用して子どもが屋外で遊んだり、自然体験ができるような使い方を希望します。複合施設で子どもに配慮するなら、屋外でのびのびと過ごせるようにすれば、相乗効果が生まれます。人工的な遊具ばかりでなく、周囲の自然を生かす方向で考えてもらえたらと思います。身近な自然が四季折々感じられるのは、葛城市のPRポイントだと思います。安全に楽しく過ごせるように周辺道路の整備も、この機会に考えてください。</p> <p>商業施設はこの跡地にはそぐわないと思います。市民は小さな商業施設ではなく、それなりに商品の揃う場所へと動きます。傍に「池」があると、鳥や生き物が集まりますし、すでに樹木もありますから、自然をうまく生かす方法を検討してください。</p>	<p>旧當麻庁舎跡地については、「P43 (3) 旧當麻庁舎跡地」に記載する直営による緑地等の整備、又は民間活力の導入の両面で検討を行います。現在、新しい複合施設の周辺エリアを1つとみなして、活用の検討を進めているところです。複合施設と合わせ、将来に渡って継続的に賑わいのあるエリアとなるよう、頂いたご意見等を参考に、今後の取組を推進してまいります。</p>	C
2	<p>跡地の利用には當麻地区が寂れていく住民の思いを汲んで、市民の拠り所となる施設に力を尽くしてください。</p>		
3	<p>敷地の一部に民間施設を導入しないで、市の施設を充実させてほしい。</p>		
4	<p>跡地利用と市民の税金の有効活用</p> <p>跡地利用については、基本計画(案)P43に「民間活用スペース」としか示されていない。跡地に市民が求める病院とかスーパーなどは想定できていない。跡地利用の将来像もなしに不要不急の施設複合化を急ぎ、これへの多額の税金投入は必要なのか。市民説明会(2/23実施「中間報告会」)のアンケートにも表明されている意見だが、耐震上問題なく大切に使える、まだ何十年と活用できる風格ある図書館を解体して3つの施設(當麻公民館含めば4つ)を無理に押し込む本計画に賛同する市民は多くはない。</p> <p>跡地利用計画も基本計画(案)P44では、概算事業費は跡地解体、倉庫建設含め31億円(今後大幅に膨れ上がるはず)となっており、複合化せず現行のままだと維持管理含め約50億円(同(案)P5)と示されている。葛城市の</p>		

<p>財政推移も見ながら各施設を使いやすく工夫すれば、多少費用が高んでも市民が受け入れやすい計画になると考える。複合化ワークショップの参加者の中でも「施設を複合化するより使いやすく工夫すればいいだけなのに」との声は少なくなかった。市民の貴重な税金、財産は市民の声を聞きながら丁寧に「市民と共に」活用すべきだと考える。</p>		
--	--	--



(4) 新施設の管理・運営の考え方に関すること(意見数 19 件)

No.	意見・要望等	本市の考え方	対応区分
1	<p>最後に、文化会館は需要のある際には一定の取組をされていますが、図書館は近場の勤労者対応や成人等の生涯学習の観点並びに活性化を図る視点からは(要望)夜間、夕刻への一定の時間延長(開所時間を遅らせる等の工夫や職員のローテーション勤務を検討してはどうか)をすべきかと思えます。</p> <p>また、両図書館共に年間を通じて図書の整理期間日(閉館日)が多すぎるように感じます。(この点は、文化会館も同様ですが)(※資料整理期間の多すぎる美術館・博物館は、総じて他の事業指標も低い傾向と言われがちですが、図書館等も例外ではありません。市の図書館は両館にまたがりませんが、他市の状況も照らし合わせて管理システムの見直しなどされてもどうかと思えます)</p> <p>(要望)ハード面を整備されるに際して、ソフト面の検討も押し進め、施設整備時に併せ、提示、展開いただければと思えます。</p>	<p>開館日数や開館時間の延長については、多くのご要望を認識しておりますが、管理システムも同様に、費用対効果を鑑み、総合的に判断したいと考えています。</p> <p>頂いたご意見等を参考に、今後の管理・運営計画の策定段階で検討してまいります。</p>	C
2	<p>図書館の夜間開館が検討されていますが、令和7年の再開館時には実現願いたい。</p>		
3	<p>全体を通して新しい施設では、今までのイメージを刷新するような印象を受けました。これには賛成なのですが、現在施設を利用する中でも何とも古くからの役所的な接客・対応やアルバイト職員ばかり?といった印象があり(無料なので特に不満にも思っていないでしたが)現在の文化会館や図書館の管理・運営のイメージからは遠いものがあります。本当にこのような新しいイメージの施設が運営できるのか疑問を持ちました。職員さんを悪く言うわけではありませんが、人数にも限りがあり、手に余る仕事もあるだろうと思えます。職員でできないなら、最初から民間事業者へ委託することを前提に、一緒に検討を進められた方が良いのではないのでしょうか。中途半端なことをせずに、できないものはお金を払ってでも民間に任せて、職員さんにはこの基本計画のように、葛城市の先を見据えて、どうすれば良くなるのかを一生懸命考えてもらうことが重要だと思います。</p>	<p>運営の方式については、たくさんの賛否両論を頂いているところですが、目指すべき複合施設像と実際のオペレーションがかけ離れることのないよう、複合施設に含まれる機能ごとに、メリット及びデメリットを丁寧に比較し、総合的に判断したいと考えています。</p> <p>頂いたご意見等を参考に、現施設の抱える課題を整理し、今後の管理・運営計画の策定段階で、そのあり方や方向性について検討してまいります。</p>	C
4	<p>当麻図書館の本は古いものも多いため、今回の複合化を機に本当に必要なものだけを残してほしいと思えます。10万冊も不要と思えます(7万冊位)。本当に読みたい本を厳選しておいてほしいと思えます。席も今では少ない</p>	<p>図書館の蔵書可能な冊数は、維持することを想定していますが、新しい施設への移転に際して、汚破損した本の除籍や残すべき本及び新たに求められ</p>	D

	ため、70 席程度は必要と思います。	る本の選書を行い、本の新陳代謝を高めることを予定しています。 閲覧席については、P34 に記載する70席程度を基本に、今後の設計又は管理・運営計画段階で検討してまいります。	
5	本の開架冊数を減らすというのは、中間報告にも書かれている「読書を体感・発見できるような仕掛け」の逆をいく計画です。特に、一般図書が大幅に減らされるということは、図書館の基本的機能を小さくするものです。開架冊数を増やしてください。	P34 図書館部門の閉架書架の一部を一般開放すると記載したものについては、ゆったりと配架した一般図書エリアと比較し、書架の配列は込み入ったものになることや書棚が装飾等のない実的なものにはなりますが、一般の入室等を制限することのない、開架書架に準ずるスペースを想定しています。これにより一般図書エリアは、多くの利用者に向けてこれまでよりも本が探しやすく、手に届きやすい空間になると同時に、本に詳しい利用者からも選択の機会を奪わない配架になると想定しています。 また、蔵書可能な冊数を減少させることは想定していませんので、図書館機能の縮小が起こらないよう、ICT 等の活用により、図書の検索性等を向上させる手段についても研究を深める必要があると考えています。	D
6	出入り口にゲートをかけて資料の管理を機械化する計画が進んでいるようですが、利用者・市民を疑うことから始めるのは自治体の対応としてはとんでもない事態です。企業がそのような体制をどれだけ進める時代が来ようとも、葛城市が市民を疑う態度をあからさまにすることは、葛城市行政の資質が問われます。	葛城市の不明本は、かなり低い水準で推移していますので、市民を疑うという意識はありません。 現時点ではセキュリティゲートを含め、貸し出し機や管理システム等の管理ツールに関する研究を行っている段階ですが、その必要性や効果について、今後の管理・運営計画の策定段階で検討してまいります。	D
7	「予約手続きなしで使える勉強教室」を公民館業務として開始願います。	業務の内容については、管理・運営計画の策定後に検討することになると考えています。	E

8	<p>指定管理導入は文化会館・図書館の両方もしくは一方に導入するものだと思います。仮に、指定管理を導入する場合、文化会館・図書館の両方に指定管理を導入し、建物管理業務も内包した方が効率的だと思います。</p> <p>また、市内には文化会館・図書館が各2箇所あるため、複合化を機に當麻複合施設を指定管理にしてはどうかと思います。もし問題があれば、直営に戻せばいいと思います。</p>	<p>運営の方式については、たくさんの賛否両論を頂いているところですが、目指すべき複合施設像と実際のオペレーションがかけ離れることのないよう、複合施設に含まれる機能ごとに、メリット及びデメリットを丁寧に比較し、総合的に判断したいと考えています。</p> <p>頂いたご意見等を参考に、現施設の抱える課題を整理し、今後の管理・運営計画の策定段階で、そのあり方や方向性について検討してまいります。</p> <p>ただし、直営による場合においても、業務委託又は指定管理者制度を導入する場合においても、新庄図書館・新庄文化会館・中央公民館の既存の施設と新しい施設に求められる役割の違いや、葛城市職員に求められる役割、またその業務の範囲等については、再度整理・検討する必要があると考えています。</p>	
9	<p>指定管理導入については、全国的に見ても、また施設機能毎にみても、成功例と失敗例があり、一概に言えない傾向であるかと思えます。失敗の主な要因については、そもそもの指定管理団体自体に対応力の点で潜在的に不十分な要素があったものと、もう一方では更新期のクール毎に指定元の地方公共団体が予算削減し続けるため、当の指定管理者が疲弊してしまうくらいがあるとの二通りの事柄が一般には言われています。【令和元年5月の総務省自治行政局の調査結果(市区町村の場合)によれば、指定管理者を取り消した理由としては、運用上の理由(主に指定管理者側の暇疵によるもの)19.4%、団体自身の理由13.5%、施設の見直しによるもの60.4%等となっていますが】</p> <p>(意見)指定管理導入の是非については、現行の文化会館、図書館の実態をよく見渡して、適切な受け皿があるか、現行の直営の職員配置実態(正職員並びに会計年度職員、非常勤職員等の配置内容等)など比較し、サービス面、人的対応力、予算等総合的に検討した上で方向性を結論づけられるほうがいいかと存じます。</p>		
10	<p>直営の場合、司書職員の確保が困難(?)との分析もあるようですが、檀原市立図書館では、受付部分を外注に回し、司書並びに中枢部分は直営にしているようです。</p> <p>例えば、文化会館機能と図書館の受付部分を抱き合わせにして指定管理に出す方式もありかもしれませんが…。</p> <p>また、昨今は、指定管理する場合には、指定管理者側の励みを促進するとの意味合いで、利用料金制が多く取り入れられているようですが。(上記の総務省調査でも、市町村での指定料金制導入は、54.2%に至っています)</p> <p>(提案)なお、導入されるのであれば、指定管理予算のみにとらわれることなく応募団体の提案内容をよく吟味し、総合評価方式等を採用し、管理者選定を行われるよう提案します。</p>		C

11	<p>當麻図書館の業務を一部業務委託にすることを提案します。具体的には、當麻図書館の業務の内、判断を要する業務の選書、装備検収、配架、参考業務(レファレンス)までを従来通り図書館職員が行い、その他の定例的な業務の図書の配架、貸出、返却、登録の業務を外部に委託する案です。図書館内の書架の配置や閲覧席の配置、図書の書架整理が図書館の裁量で自由にできること。図書分類はNDC分類で今までと変わらないこと。(全面委託にするとCCCのライフスタイル分類に変更になるおそれがある。)配架については、図書館職員がどの書架にどのNDC分類の図書を配架するのかを定めることで、委託先の人々が具体的に決められた図書を決められた書架に配架します。従前のアルバイトの人は委託先の業者が斡旋しますので、図書館側がアルバイトを探す必要がなくなります。</p>		
12	<p>葛城市當麻複合施設基本方針〈概要〉ワークショップにおける資料で、「7.検討の方向性(案)」で"新庄図書館と役割分担の上特色づけを行い"との課題が明示されています。</p> <p>また、この課題は2022年7月の葛城市當麻複合施設整備基本方針の38ページ「6章運営・管理の考え方」において「當麻複合施設の運営・管理については、指定管理者制度の導入等の民間活力の導入も含め・・・(中略)・・・民間活力の導入のメリット、デメリットを十分比較検討し、新庄文化会館、新庄図書館との業務分担やすみわけ等についても十分な検討が必要です。」とここにおいても課題を明示しています。</p> <p>問い=この方針で現在も取り組まれているなら、「新庄図書館と役割分担の上特色づけ」「新庄文化会館、新庄図書館との業務分担やすみわけ等」とはどういった検討がされていますか?業務分担は資料費配分で、すでに実施されています。これ以上の業務分担は機能の縮小に関わります。</p>		
13	<p>今回の「葛城市當麻複合施設整備基本計画(案)」にも明記されている「指定管理者制度」(民間企業への業務委託)の採用は、総務省も文科省も「公共図書館の運営にはふさわしくない」と見解を明らかにし、「最大の問題点は専門的な知識を有する人材や図書館運営のノウハウが根付かず、図書館のリテラシーが低下」としています。私は"カウンターでの経験の蓄積なしに司書の資質向上はない"と信じるものです。</p> <p>続いて先の資料では、初年度実績は高く、順次貸出冊</p>		

	<p>数は下がっていき図書館離れが起きていると分析しています。総務省、文部科学省とご協議いただくと共に、今回の指定管理者制度は放棄されるよう願っています。</p> <p>私は法の原点である公共図書館は市民生活をサポートし、市民民主主義の醸成に役立つ自覚的学習権を支えようと義務づけられた機関であることを市民と共に大切にすべきと確信するものです。</p>		
14	<p>住民サービスを第一に考えるなら、専門的な知識を持った職員を配置するのが最良だと思う。現状は、おはなし会に専門職員も参加してもらって、協力しながら子どもと本をつなぐ為の勉強やおはなし、絵本の読み聞かせ等を通じて、子どもが本に出会え、好きになってもらえる様、日々努力し頑張っています。</p> <p>もし指定管理になれば、図書館に置く本の選択も、人気のある本や借り易い安易な本に片寄ったり、出版社との関係から本を選んだり、数字を出すために営業的になったり、そういう事を危惧します。</p>		
15	<p>管理運営体制について</p> <p>施設全体を民間に任せたいという方向が感じられますが、「図書館」は、直営の方がよいサービスを将来的にも維持できると考えます。コストパフォーマンスだけでは測れない部分をきちんと判断してください。</p>		
16	<p>指定管理でなく、市が直営で運営してください。</p>		
17	<p>図書館は民営(指定管理など)でなく市の直営の現状は最低守ってほしい。</p> <p>本来の公共図書館が持つ人切な原則「個人情報を守る」という点で「市の直営」を守るべきです。また、今「ツタヤ図書館」など各地で指定管理による図書館がありますが、数年経過ののちを比較すると、維持管理費、図書の展示など運営には様々な問題が指摘されています。やはり、市民の図書館を儲けの対象にしてはいけません。図書館は民営にはなじみません。</p>		
18	<p>複合化の検討にあたって指定管理者制度は導入しないでください。理由の1つ目は、新文化会館が完成して開館すれば当初はそれこそ賑わい状態になりますが、時間が経ちますと確実に来館者は減っていきます。そうなると図書館に70席も閲覧席は要らなくなります。利用の無い閲覧席は撤去し、書架を設置していきたいと教育委員会が思っても指定管理では出来ません。</p> <p>2つ目は、利用者が少なくなれば指定管理者は係員を減員することでしょう。その減った分の人件費は指定管理</p>		

	<p>者の儲けになります。その状態が契約期間(5年間?)続くのです。</p> <p>結局、高くなります。指定管理にすれば安上がりになるというのは幻想にすぎません。今まで通り教育委員会で管理・運営(=直営)を行ってください。</p>		
19	<p>「民間活力の利用」「民営化」がキラキラした言葉とともに語り始められるとき、そこには企業にとってうまい汁があるからです。水道問題で諸外国に勉強すべきことが数多くあります。民営化し水道料金は上がり、とてもかなわないと公営化に戻すためには莫大な金額を請求されている。民間のノウハウを参考にすることはあっても、民営化はしないでいただきたい。</p>		

(5)その他に関すること(意見数 10件)

No.	意見・要望等	本市の考え方	対応区分
1	當麻複合施設整備基本計画(案)(資料編)の2ページ中、「サービス保存の原則」の文言を削除。	葛城市議会においてもご指摘があり、市長より誤解を招くおそれのある「サービス保存の原則」という文言は、今後の使用を控えるとの発言がありましたので、文言を削除し、修正します。	A
2	手法ですが、実施計画(案)P8に「二上山や金剛山、岩橋山が並び風景をどの場所からでも…」と記載がありますが、當麻文化会館部分からであれば、金剛山でなく、葛城山とされた方がいいかと思えます。	ご意見を踏まえ、「金剛山」を削除し、「葛城山」に修正します。	A
3	建物として「子育て支援スペース、カフェ等のコミュニティスペース、ギャラリー等」がある「ゆとりがある空間」、「リラックスできる場所」「ゆっくり休憩できる静かなスペース」が確保できたとしても、現状以上に多くの人が集まるようにするには、複合施設へのアクセスの良さが鍵を握ることになると思えます。アクセスの改善という点での検討が欠けていると思えます。	ご意見として承り、必要に応じて検討するものとします。	E
4	當麻図書館の来場者が読書だけの利用がないのは、読書をするスペースが貧困であったためと思えます。古い本が多いとの記述もあったが、新本購入の予算配分の問題ではないのでしょうか。	本計画(案)では、閲覧スペースを90席程度確保し、現状よりも充実した閲覧スペースとすることで、来館者の滞在環境を整えたいと考えています。新本購入についても、これまでの課題を踏まえ、保管スペースを確保することで、今後の計画に応じた予算配分を検討したいと考えています。	C
5	P5①～⑥までの案が示されており、総費用がそれぞれ記載されていますが、それぞれの総費用の主な内訳は、どのようなものでしょうか。	P5①～⑥の案の概要、総費用の内訳等については、令和4年(2022)7月策定の「葛城市當麻複合施設整備基本方針」資料編P41に記載しております。	D
6	新庄にある中央公民館(以下、中公)なみの當麻公民館を建設してください。中公はたくさんの部屋数があり、市民にはすべて無料です。新庄の方々は、皆さんいきいきと活動されています。 昨春に、100歳と57日の母を自宅で看取りました。老衰でおだやかに見事な大往生でした。尊敬する母のあのような最後を目指しています。地域包括支援課や介護保険課の皆様方に熱心に励ましていただいて、介護予防と認知症予防の勉強をしています。	本検討では、施設の複合化を基本とした検討を進めていますが、ご意見として承ります。	E

	<p>健康に必要な3つの要素は、①運動、②認知症予防、③人とのつながり【60歳からの今日用(教養)と今日行(教育)は、自宅の玄関を出て、家族以外の方と話すことからです】・サロン・茶話会・運動教室などの通いの場がたくさん必要です。</p> <p>市民どうしの交流の場所がたくさんあれば、介護や医療費などの市の負担は制御されます。超高齢化の時代に予防医学になります。高齢者も介護家族も市の財政も助かります。</p>		
7	<p>“偶然の出会いや発見が生まれる施設”と書かれているが、施設計画に賛同を得るための美辞麗句、言集遊びのように見えます。</p>	<p>「偶然の出会いや発見(セレンディピティ)」は、当麻複合施設を整備するに当たり、複合施設の目指す姿として掲げさせていただきました。より良いものとなるよう、今後も検討を重ねてまいりますので、ご理解よろしく申し上げます。</p>	D
8	<p>開架図書が従来のような形ではおけない、とのことですが、現行の図書館に配置されている(質問)司馬遼太郎コーナー並びに地域史的なコーナーはどのような形になるのでしょうか。教えてください。桜井市の図書館では、十数年前の開設時からICT対応を考え、閲覧コーナーに電源取り口を設置されています。(要望)実施設計時にご検討ください。</p>	<p>現在当麻図書館にある各コーナーの配置計画については、今後の管理・運営計画、設計段階で詳細に検討する予定です。また、本施設は図書館部門だけでなく、施設利用者が容易に欲しい情報へのアクセスや外部との連携・交流等ができるようICTを活用した事業・サービスを推進する計画であり、閲覧コーナーでの電源取り口の設置についても設計段階にて検討します。</p>	D
9	<p>なお、活動を恒常的に行い、減退させないためには、各事業毎に事業目標が必要です。これは、何も文化会館、図書館に限ったことではありません。全分野にて言えることかもしれませんが、(提案)各事業ごとに分かりやすい指標で数値目標を毎年度設定し、当該年度の達成度を押し測り、未達について分析し、次年度に繋げていく、言わばPDCAサイクルを回すようにすることも必要かと思えます。これは、何も社会教育施設や指定管理者に限ったことではないと考えます。施設のあり方検討と切り離しても、葛城市全事業分野で検討していかれてもと思えます。(既に毎年度、事業計測されている指標があれば、差し出がましい限りですが…)</p>	<p>「葛城市公共施設等総合管理計画」には公共施設マネジメントに係るPDCAサイクルについて記載していますが、多くの課題があるのも実情です。ご意見として承ります。</p>	E



10	<p>複合化施設に郵便局の設置をどうしても施設を複合化するのであれば、當麻地域の中心街的な機能をつくるために郵便局を複合施設内に組み込むことを提案したい。</p> <p>現在、當麻地域にある郵便局は長尾郵便局1局しかない。當麻地域住民にとっては、狭い道路を歩いてしか行くことができない不便な立地にあり、その不便さは、長年の地域住民共通の悩みである。郵便局は本来、街の中でも利便性の高い場所につくられ、中心街を形成するものである。もし、複合施設をつくるなら上牧町役場内の郵便局のように、ぜひ簡易郵便局の設置を計画に入れてほしい。</p>	<p>ご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。</p>	C
----	---	----------------------------------	---